

令和 8 年度

# あんじょう 協働 リビングラボ

NEWS LETTER ①

8月23日、日曜日の午前中、市民交流センター多目的ホールで令和8年度「あんじょう協働リビングラボ」第1回を開催しました。参加者は、市民と事務局スタッフを含めて22人でした。

全5回の講座のうち、初めの2回は基礎編となる「場リスタ（場づくりマスター）養成講座」。初回のこの日、前半はアイスブレイクや自己紹介などで関係性づくりをしながら、コミュニケーションの基本や場づくりのコツを学びました。休憩を挟んで後半は、3グループに分かれて、人が集まる場で「困ったこと」や「不安に思うこと」を付箋を使って出し合ったあと、とくに講師に聞いてみたいこと3つを選んで発表。最後は輪になって、数人から気づきを伺いました。

## DAY1 場リスタ養成講座① 「お互いを知ろう！」

### 1. オープニング

市民協働課長  
杉浦さん



安城市では、第3次安城市市民協働推進計画に基づいて、市民協働のまちづくりを進めています。複雑な地域課題、行政課題の解決には、行政、市民活動団体、地域団体、事業者など多様な主体が連携する「マルチパートナーシップ」が求められています。

ここでの対話と実践を通じ、新たなつながりと一歩が生まれることを期待しています。

市民協働課  
石川さん



この協働リビングラボは、マルチパートナーシップ推進のための、イノベーションにつながる協働の場づくりとして実施をしています。立場や経験の違う人が集まり関わることで、新しいアイデアやつながりが生まれ、市民活動をはじめのきっかけにつながることを目指しています。

安城がこうなったらいいな！ということや、自分の得意なことが活かせるかも？という思いを出し合って、楽しみながら進めていけたらと思っています。

### 2. アイスブレイク（ときほぐし）

アイスブレイクで参加者どうしの関係性づくりをしながら、コミュニケーションの基本を学びました。

講師・ファシリテーター  
TAKESHI



●くるま座は全員の顔が見え、上下の序列がない座席配置。でも少し緊張感もある。配席によって受ける印象、雰囲気が変わるので、目的や趣旨にふさわしいレイアウトを考えよう！

●**プレイズファースト**（PRAISE FIRST）。「いいナ」と思うことと「気になること」があったら、「いいナ」と思うことを先に言うといい。褒めたり共感したり、ポジティブな言葉を言えば言うほど、言われた人も言った人も、脳が活性化し、アイデアが出やすくなるそうです！

●**「聴き方のコツ」**は…相手の目を見てうなずき、共感を示しながら、相手が話したくなるような合いの手を打って聞く「傾聴」が大事！コミュニケーションの第一歩は「聴くこと」。

●**「話し方のコツ」**は…PREP法（まず結論→理由→例示→結論）を使って、論理的に伝えと、伝わりやすい！

●**アイスブレイク**で、場の雰囲気や和らげると、話しやすい関係性ができる。自分がやりやすい鉄板ネタを見つけておくといい！

●**より良い話し合いのための3つの約束**…①対話：まず傾聴②多様性：人の意見を否定しない。③未来志向：前向き＆クリエイティブな雰囲気。会の最初にルールを伝えておくといい！



### 3.グループワーク「人が集まる場の“困ったちゃん”」～発表・共有

3グループに分かれ、会議・地域活動・仕事など、人が集まる場で「困ったこと」や「不安に思うこと」を付箋に書いて出し合ったあと、共有しながら貼り出し、整理分類。みんなのアイデアを模造紙上に「見える化」しました。最後は、TAKEZO（講師）に「とくに聞いてみたい困り事や不安3つ」を選び、全体で発表・共有しました。

#### 教えて TAKEZO！★トップ3

- A** ★参加者が自分事としてとらえるには？  
★リーダー（進行）に協力してもらうには？  
★多様な人たちが同じ方向を見るためには？



- B** ★関心のある人が集まらない  
★異文化交流の機会が少ない  
★イベントの継続性の確保



- C** ★初参加への不安の乗り越え方  
★マイナスの空気感をプラスに変える方法  
★結論がでない時の導き方



### 4.プチ・ハーベスト（収穫）

最後に全員でくるま座になり、今日の「気づき」を分かち合いました。

- ◆これまで付箋を貼って話し合う経験がほとんどなかった。このやり方は、いろんな人の意見が出しやすくていいと感じました。
- ◆今 2 歳と 4 歳の子育てをしているのですが、自分が傾聴してもらう経験をしていて、いつも自分が子どもに心と目を見て聴いてあげられていなかったと気づいた。

- ◆こういう話し合いの機会を増やして、慣れることが大事だと感じました。
- ◆座って学ぶ講座じゃなく、アクションして気づきを得る。そういう場をつくれば参加者さんが集まるんだなって思いました。

うまくできることだけが学びじゃなく、難しさとか感じることも自分がすごく学びになる！



**ひとことアンケートより** 楽しくて3時間が、あっというまでした。みんなと輪になり、自己紹介したり、話し合って発表したり、この方法は、とてもよかったです。目を見てきく、否定しないなど、傾聴のやり方は学びになりました／メンバーの方がそれぞれ熱い想いを持っていることを、会話する中で感じました。市民交流の機会は非常に可能性がある。もっともっと機会を増やして欲しい ほか

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp